

第7期（2018年3月期）

決 算 公 告

〔 2017年4月 1日から
2018年3月31日まで 〕

佐賀県三養基郡基山町大字長野970-1

伊藤ハムウエスト株式会社

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	11,079,548	流動負債	10,628,208
現金及び預金	170,066	買掛金	9,035,857
受取手形	21,433	リース債務	85,265
売掛金	8,363,940	未払金	892,327
商品及び製品	1,221,562	未払費用	107,194
仕掛品	41,017	未払法人税等	9,476
原材料及び貯蔵品	1,098,027	未払消費税等	86,232
前払費用	5,804	前受金	1,735
繰延税金資産	136,696	預り金	20,914
その他	20,998	賞与引当金	379,321
		役員賞与引当金	9,882
固定資産	474,342		
有形固定資産	242,508	固定負債	296,790
リース資産	242,508	リース債務	176,155
投資その他の資産	231,833	退職給付引当金	95,644
投資有価証券	19,949	その他	24,990
繰延税金資産	31,053		
出資金	2,100	負債合計	10,924,998
その他	179,731	純資産の部	
貸倒引当金	1,001	株主資本	622,244
		資本金	90,000
		利益剰余金	532,244
		利益準備金	22,500
		その他利益剰余金	509,744
		繰越利益剰余金	509,744
		評価・換算差額等	6,647
		その他有価証券評価差額金	6,647
		純資産合計	628,891
資産合計	11,553,890	負債・純資産合計	11,553,890

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 其他有価証券
時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) たな卸資産
商品及び製品

先入先出法による原価法
(ただし、販売用食肉は、月別移動平均法による原価法)

仕掛品、原材料及び貯蔵品

月別移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金

役員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
・退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法
過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数(13年)による定額法により費用処理しております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(13年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社は、連結納税制度を適用しており、当社は、その連結子法人となっております。

当期純損益金額

当期純利益508,909千円

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。